

平成23年度武蔵野市財政援助出資団体経営目標評価シート

団体名		公益社団法人武蔵野市シルバー人材センター						
①	指標名	公共民間受託契約金額			目標値	466,280	実績値	435,408
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	93.4%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> 達成
	(単位: 千円)	433,206	438,032	429,758				
	取組内容	<p>※23年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>センターの会員及び入会希望者のために、事業拡大の取り組みとして次の事業を実施した。                      ①役職員が事業所等の訪問を実施した。全会員に月2回発行の就業ニュースにより仕事の情報を提供した。②関係団体の会議やイベントに役員が参加し、センター事業の普及啓発に努めた。地域交流を兼ねセンターフェアを実施した。年2回、センターのPRチラシの全戸配布を実施した。各地域のコミセン文化祭に参加し、PR活動を実施した。③会員及び入会希望者に対し、関係団体が開催する研修会の案内を行なった。理事・地区班長の研修会を開催した。④毎月2回の入会説明会を実施した。税務署の協力により確定申告相談会を実施した。⑤7月と12月を安全強化月間とし、就業先の巡回や自転車点検など安全就業の推進に努めた。会員の万一の事故に対し、全会員に緊急連絡カード(ホルダー)を配付した。⑥小学校への雑巾寄贈、震災避難者へリサイクル家具の無償貸与を行った。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>目標値である契約金額は達成できなかったが、事業計画に掲げた事業は概ね実施することができた。本年度は役員が手分けをし関係団体の会議に出席しPR活動を行ったり、各地区のコミセン文化祭では班長と協力してセンターの宣伝活動を行った。契約数値には直結しないが、社会奉仕活動として実施した小学校への雑巾寄贈や震災避難者へリサイクル家具の無償貸与など組織的な事業展開を行い、今後の実績につながるよう次年度も社会奉仕活動を検討していく。                      また、目標値の達成には会員数の拡大も重要であり、入会促進チラシの配付などを実施し、入会者159名(退会者131名)、年度末1,242名となり、目標値の契約実績は達成しなかったが、対前年比は微増となった。</p>						
二次評価	<p>目標値は未達成ながらも、昨年度比微増となったことは評価できる。また小学校への寄贈、震災避難者への無償貸与など、市の出資団体の姿勢として評価したい。引き続き、シニア世代の地域社会との連携をしながら、就業や社会奉仕等の活動機会確保という設立目的達成に努められたい。</p>							
②	指標名	損益計算書 事業収入 自主事業収入 収益事業			目標値	274,410	実績値	249,887
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	91.1%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> 達成
	(単位: 千円)	238,877	253,198	245,217				
	取組内容	<p>※23年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>自主財源を高めるに、事業実績を申し事務費収入と会員増加に伴う会費収入の増額に努めた。実績の拡大には、役職員による事業所訪問や、普及宣伝活動を行なった。また、会長をはじめ役員等が関係団体の会議やイベントに参加し、センター事業のPRに努めた。                      会員数の増加を目指し、毎月2回の入会説明会を実施し本年度より午前午後の2部構成とした。                      支出面でも不要不急の支出を抑え、財源確保に努めた。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>補助金収入と主な自主財源の内訳                      補助金収入 H24 66,194千円 H23 68,063千円 増減 -1,869千円                      事務費収入 H24 29,594千円 H23 28,901千円 増減 +1,054千円 会費収入は4千円の増                      補助金の減額分を事務費収入で補っていないが、支出面で抑えたためプラス決算となった。                      今後も事業実績の増加と会員数拡大の方策を進める。</p>						
二次評価	<p>目標未達成であるが、地道な取り組みを行い昨年度よりも増加していることは評価できる。ヒアリング実施時に委員より指摘のあった会計の収支については、団体の財政に不利にならないよう適正な対応を行うこと。</p>							
③	指標名	事務局業務への会員の活用			目標値	5,120	実績値	5,036
	過去の実績	平成20年度	平成21年度	平成22年度	達成率	98.3%	達成状況	未実施・ <del>未達成</del> 達成
	(単位: 時間)	5,035	5,120	4,799				
	取組内容	<p>※23年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。</p> <p>前年度に引き続き、会員を臨時職員として雇入れ事務の効率性と人件費の抑制に努めた。                      目標値(総時間数)は達成できなかったが、幅広く会員を雇用した。</p>						
	一次評価	<p>※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。</p> <p>会員の履歴を参考に、多数の会員を事務局業務に臨時職員として雇用する。                      主な業務内容は、運搬業務、建物清掃、請求金額計算、OA入力等である。                      他に、センターの普及啓発活動で、各種イベントへの参加及びセンターフェアのスタッフとしての業務。                      理事会や諸会議の資料帳合い及び準備等、財政状況を確認しながら広範囲に雇用する。</p>						
二次評価	<p>事務局業務への会員の活用を進めることも理解するが、本来の目的である地域社会との連携をしながらの就労等へつなげられるよう努められたい。また市において行っている財政援助出資団体の在り方検討の議論を注視しながら、今後の運営を行うこと。</p>							